



ハトは、あたらしいオリーブのはっぱを口にくわえてもどってきましたよ。そして次の週、ノアはこの地がかわいていることが、わかったのです。なぜってね、こんどは、ハトがもどってこなかったんですもの。

19



神さまは、ノアに言われました。「さあ、そろそろはこ舟からでてごらん。」ノアもノアのかぞくもいっしょになって、どうぶつたちをはこ舟からおろしてあげました。

20



ノアは、なんてうれしかったことでしょう。ノアは祭壇をつくり、「神さま、ありがとうございます。」ついで、礼拝しました。神さまが、ノアもかぞくも、おそろしいあらしから、すくってくださったのですから。

21



神さまは、ノアにすばらしいやくそくをしてくださいました。それはね、神さまはもう二度とこう水などおこさないうつて、人の罪をさばくためにね。

神さまは、そのやくそくを思いだせるようにして、すてきなものをくださいました。それは、にじ。うつくしいにじが、神さまのやくそくのしるしなのです。

22



ノアと大こうずい



大こうずいのおと、ノアやノアのかぞくたちは、すべてのことを、はじめからあたらしくやりはじめました。そのうちに、この地ぜんぶノアたちのしそんでいっばいになりました。世界中のいろんな國の人々みんな、

23

ノアと大こうずい

神さまの御ことは、聖書に記されているおはなしです。

創世記 6 章 - 10 章

あなたの御ことが開かれると、光が与えられます。

詩篇 119:130

文 Edward Hughes 翻訳者 Yuko Kajiki 監修者 Dan Ellrick
 絵 Byron Unger; Lazarus 出版社 Bob Davies; Tammy S.

60話の第3話

M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg MB R3C 2G1 Canada

許可： 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺいらっしやります。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくいには、死です。

神さまは、私たちをとても愛されたので、み子イエスをこの世におくってくださいました。そして、イエスが十字架で亡くなることによって、私たちの罪をとってくださったのです。イエスは、よみがえられ天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてください。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっしやることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにすることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3:16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！

日本語 Japanese



ノアは、神さまが大好きで、いつも褒美している人でした。でもね、ほかのみんなは、褒美などすっかりいやになり、神さまにしたがいませんでした。

ある日、神さまは、みんながひどくショックをうけるようなことを、言われました。「この世界はこんなんにも悪くなっちゃった。ひとつのこらずぼろぼろしてしまおう！」そして、ノアにこう言われました。「ノア、あなたのかぞくだけは、助けてあげよう。」

1

2



神さまは、ノアにやがて大こうずい^{おほこうすい}がやってくることを、そしてその大こうずいは、すっぽりとこの地^{このち}すべてをおおってしまおうことを、しらせました。「ノア、大きなはこ舟^{おほおほね}をつくりなさい。」



あなたのかぞくと たくさんの動物たち^{どうぶつたち}みんなが入れるよ
うなはこ舟^{おほおほね}をね。」 神さまは、ノアにこう命じられ、
どのようにはこ舟^{おほおほね}をつくるか、ひとつひとついねい
におしえてくださいました。さあ、ノアは、
いそがしくなりましたよ。



ノアは、まわりの人たちに、どうしてこんなに大きなはこ舟^{おほおほね}をつくっているのか、おしえてあげました。でも、たぶんみんなは、ノアをばかにして笑ったでしょうね。
ノアは、もくもくと、はこ舟^{おほおほね}をつくりつづけました。そしてみんなに、神さまのことを、言いつづけました。でもね、だれも聞こうとはしませんでした。



ノアは、心のそこから神さまを信じていました。たとえ今まで、ここに一てきの雨^{ひとつきのあめ}もふつたことがなかったとしても、やっぱりノアは神さまの言われたことを信じたでしょう。



まもなくはこ舟^{おほおほね}は、いろいろなものを積みこむためのじゅんぴが、すつかりとできあがりました。



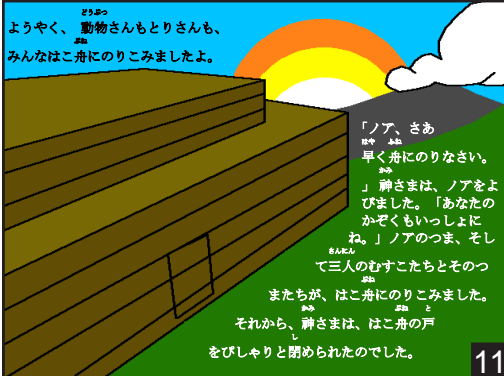
さあ、動物たちがやってきました。神さまは、いくつかのしゅいの動物から、おすとめすと七くみ、またそのほかのしゅいのからも二くみ、つれてこられました。



大きな鳥やかわいい小鳥^{こどり}さんも、ちっちゃい動物さんからのつぼの動物まで、みんなそろってのはこ舟^{おほおほね}へやってきましたよ。

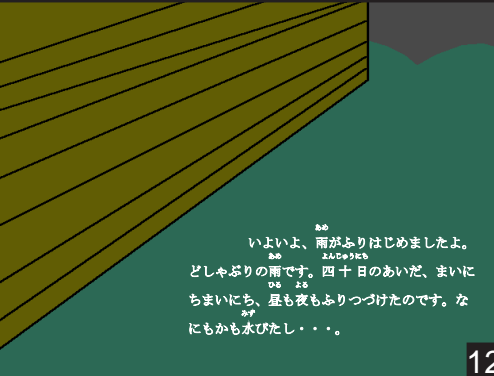


人々は、ノアが動物たちをはこ舟^{おほおほね}にのせているのを見て、あざけり笑ったのでしょね。みんなは、神さまにしたがわなくて、罪をおかしてばかりいました。それにみんなは、ノアにはこ舟^{おほおほね}に入れてくださいって、たのみませんでした。

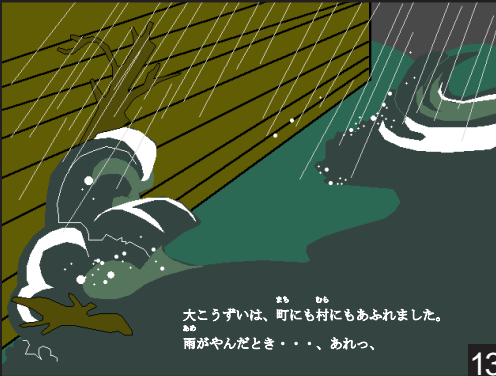


ようやく、動物さんもとりさんも、みんなはこ舟^{おほおほね}にのりこみましたよ。

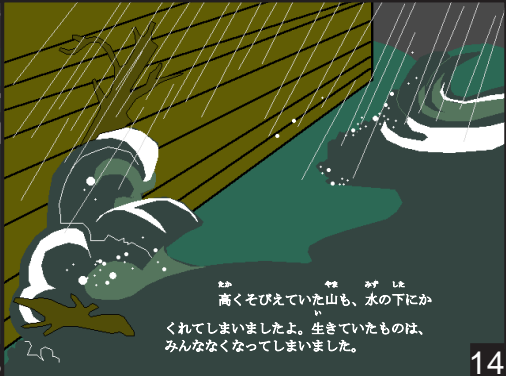
「ノア、さあ早く舟^{おほおほね}にのりなさい。」 神さまは、ノアをよびました。「あなたのかぞくもいっしょにね。」 ノアのつま、そして三人のむすこたちとそのつまたちが、はこ舟^{おほおほね}にのりこみました。それから、神さまは、はこ舟^{おほおほね}の戸をびしゃりと閉められたのでした。



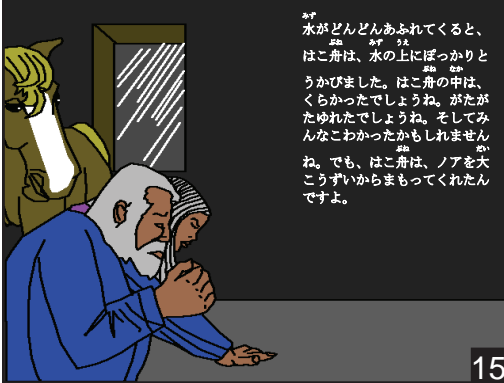
いよいよ、雨がふりはじめましたよ。どしゃぶりの雨^{あめ}です。四十日のあいだ、まいにちまいに、昼も夜もふりつづけたのです。なにもかも水びたし・・・。



大こうずいは、町にも村にもあふれました。雨がやんだとき・・・あれっ、



高そびえていた山も、水の下にかくれてしまいましたよ。生きていたものは、みんななくなってしまいました。



水がどんどんあふれてくると、はこ舟^{おほおほね}は、水の上にぼっかりとうかびました。はこ舟^{おほおほね}の中は、くらかったでしょうね。がたがたゆれたでしょうね。そしてみんなこわかったかもしれせんね。でも、はこ舟^{おほおほね}は、ノアを大こうずいからまもってくれたんですよ。



五か月のあいだ、こう水はつづきました。そのあと、神さまは、かわいた風をおくられました。はこ舟^{おほおほね}は、のこされた高い山、アララト山のほうへながされていきましたよ。そう、ゆっくり、ゆっくりと・・・。



ノアは、それからまだ四十日のあいだ、舟^{おほおほね}のなかにいました。そのあいだに水がすこしずつひいていきました。



ノアは、舟^{おほおほね}のまどをあげ、カラスとハトをはなしてやりました。でもね、とまることができるようなかわいたきれいなところが見つからなかったの、ハト、ノアのところにどつてきました。」 一週間して、ノアはもういちどハトをはなしてやりました。すると、どうでしょう。